

小学生対象の生き物観察会の取り組み

西嶋一惺・長澤颯希・西田光澄・平野誠士・坂本光希・土谷柚葵・
永井涼太・中沢啓悟（兵庫県立篠山東雲高等学校 自然科学部）

はじめに

篠山東雲高校のある丹波篠山市には多くの自然環境が残っている。しかし、そこに住む小学生はあまり自然体験をしていない。そこで、私たちは地域の小学生に生き物のすばらしさを伝えるために生き物観察会を行った。

方法

(1) 小学校の生き物観察会

A、城東小学校の観察会（写真1・2）

日時：令和4年7月1日（金）

場所：曾地川

参加者：城東小学校4年生18人

B、城北畑小学校の観察会

日時：令和4年8月30日（火）

場所：畑川

参加者：城北畑小学校4年生26人

(2) 地域団体の生き物観察会

A、味間奥子ども会の観察会

日時：令和4年7月28日（木）

場所：熊野神社の中の小川

参加者：味間奥の小学生約20人

B、篠山環境みらいの会の観察会（表1）

日時：令和4年8月6日（土）

場所：真南条川

参加者：一般参加の小学生約20人



写真1・2 城東小学校の観察会

表1 篠山環境みらいの会の観察会で観察できた生き物

魚類	両生類	昆虫類	甲殻類
ムギツク	アカハライモリ	ミズカマキリ	スジエビ
アブラボテ	ウシガエル（幼生）	コオイムシ	ヌマエビ
カネヒラ		コオニヤンマ（幼虫）	アメリカザリガニ
タイリクバラタナゴ		ハグロトンボ（成虫）	サワガニ
カワヒガイ		ハグロトンボ（幼虫）	貝類
ドジョウ		ヒラタドロムシ（幼虫）	カワナ
ヨシノボリ		トビケラ類（幼虫）	
ドンコ			
ナマズ			
ミナミメダカ			
ブルーギル			

(3) ビオトープ(写真3)での生き物観察会

A、成徳ふれあいのまちづくり協議会の観察会

日時：令和4年5月15日(日)

参加者：神戸市の小学生約35人

B、福の里農業小学校の観察会

日時：令和4年6月19日(日)

参加者：農業体験参加の小学生約20人

C、たんば子ども塾の観察会

日時：令和4年8月4日(木)

参加者：丹波地域の小学生約30人



写真3 ビオトープ

結果と考察

近年、子どもたちが自然の中で自由に虫捕りなどができる場所が少なくなっている。生き物観察会を開催することによって、子どもたちに自然体験をする機会を作ることができ、身近な生き物について関心を持ってもらうことができた。そして、私たちも子どもたちに生き物のことを教えることにより、自分たちの知識を深めることができた。また、生き物観察会は、けがをしないように

行うことが最も大切である。そのことから、私たちは子どもたちが安全に楽しく観察会ができるように心がけている。ビオトープにおいては、観察をしやすくように杉の木を使った栈橋を設置している(写真4・5)。この栈橋は、防腐剤などを使用していないため、水につかるところは腐りやすくなっているため、定期的にメンテナンスを行う必要がある。

おわりに

私たちは、採集した生き物で名前を知らないものも多くいる。子どもたちに「この生き物、何？」と聞かれたときに困ることがあった。その時、うまく説明できず子どもたちに歯がゆい思いをさせてしまった。今後は、もっと多くの知識をつけて子どもたちに生き物のおもしろさと自然環境の大切さを伝えていきたいと思っている。そして、この活動を通じて最近減っている生き物の保全活動にも役立てていきたいと考えている。



写真4 杉の木の搬入



写真5 栈橋の設置